



## 校長室より



令和5年11月10日

No.16

毎年11月5日は「世界津波の日」と制定されています。この日は、江戸時代の後期、安政元年11月5日、安政南海地震による津波が和歌山県を襲った際に、稲の束に火をつけ村人を救ったという「稲束の火」の故事にちなんでいます。

本校では、来たるべき南海トラフ大地震に備え、近隣地域と何ができるか、何が課題となるかを検討してきました。昨年度から、まず、近隣のくろしお保育所と太陽作業所と本校で準備委員会を立ち上げ、合同の地震津波避難訓練の計画・実施をしています。

今年は、11月7日（火）を訓練日と設定しました。当日は、低気圧による強風が吹き荒れていたため、くろしお保育所は参加できませんでしたが、太陽作業所と連携して合同訓練を行いました。和歌山病院屋上へ安全に気をつけながら、落ち着いて避難できました。日高広域消防署の職員にも来ていただき、講評をいただきました。今後、地震による様々な被害状況を設定して、訓練のバリエーションを考えていきたいと思えます。



11月は、文化祭でも盛り上がりましたが、児童生徒たちの体験活動が活発に行われています。11月8日（水）には、和歌山県立自然博物館の協力の下、移動博物館が本校に来てくれました。海の生物、昆虫、動物、化石など体育館に並んだ展示を二学部の児童生徒たちは目を輝かしながら観察していました。ナマコやヒトデ、ヤドカリなど手にとり、学芸員さんにもいろいろ質問して身近な地域の生物について知ることができました。



11月9日（木）、いきいき交流教室が放課後に開かれ、本校二学部生徒のアウトドア活動部と御坊市のアウトドアショップ「バトラコス」のコラボで、本校の中庭でアウトドア教室が開かれました。テントを立てたり、薪割り体験をしたり、ソーセージやマッシュマロを焼く野外調理体験をしたり、自然の中、皆、笑顔でアウトドア気分を堪能しました。本校の立地する煙樹ヶ浜には、キャンプ場もあり、アウトドア活動は生涯を通じて楽しめる趣味にもなりますね。

